

事例5

< 事例概要 >

- ・ 60 歳代の患者。拘束性換気障害（軽度）合併。
- ・ 死因は、胆道感染を起因とした敗血症。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。
- ・ 1 週間前に急性胆嚢炎を発症、汎発性腹膜炎を疑い緊急に腹腔鏡下胆嚢摘出術施行。
- ・ 術中、出血量約150 mL、手術時間約 2 時間。
- ・ 術後 2 日目、腹痛が増強、呼吸状態悪化し人工呼吸器管理開始。術後 3 日目、腎機能悪化のため持続血液濾過透析を開始するが、術後 15 日目に死亡。